

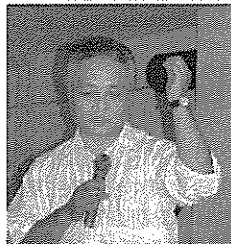
認証・登録セミナー110人が参加

中小の環境経営システムに高い関心

E A21事務局

中小企業の環境経営システムとして注目を集めるエコアクション(EA)21の認証・登録制度セミナーが21日、大阪市港区のpia NPOで開かれ、これから構築しようとする企業関係者ら約110人が参加、中小企業関係者の高い関心をうかがわせた。地球環境戦略研究機関エコアクション21事務局とエコアクション21地域事務局大阪(NPO法人大阪環境カウンセラー協会内)が共催、EA21地域事務局大阪の開局記念事業として行われたもので、入札参加資格におけるポイントの対象となるなど、建設関係にとっても注視すべき制度に関係者が聴き入った。

国によって広範な中小企業向けに準備された環境省EA21は、いわば「中小企業版環境I



基調講演する
竹内恒夫氏



大畑氏(右端)をコーディネーター
にパネルディスカッション

SO」として認証登録制度が整備されスタートした。国や地方自治体での普及施策やサプライチェーンの動向、京都議定書の発効ともあいまって今後、急速な普及が予想されている。基調講演に立った地球環境戦略研究機関持続性センターEA21中央事務局の竹内恒夫局長は、「中小企業でも容易に取り組めるシステム」と強調、また大阪市、石川県、神奈川県が入札参加資

格のポイント対象としている点などに注意を喚起した。

引き続いてのパネルディスカッションでは、大阪環境カウンセラー協会執行理事の大畑明氏をコーディネーターに、マコト電気(大阪市西区)などが事例報告。構築の苦労話とともに認知度の向上を図っていく必要性などが報告された。